

オフセット・クレジット（J-V ER）制度 の概要について

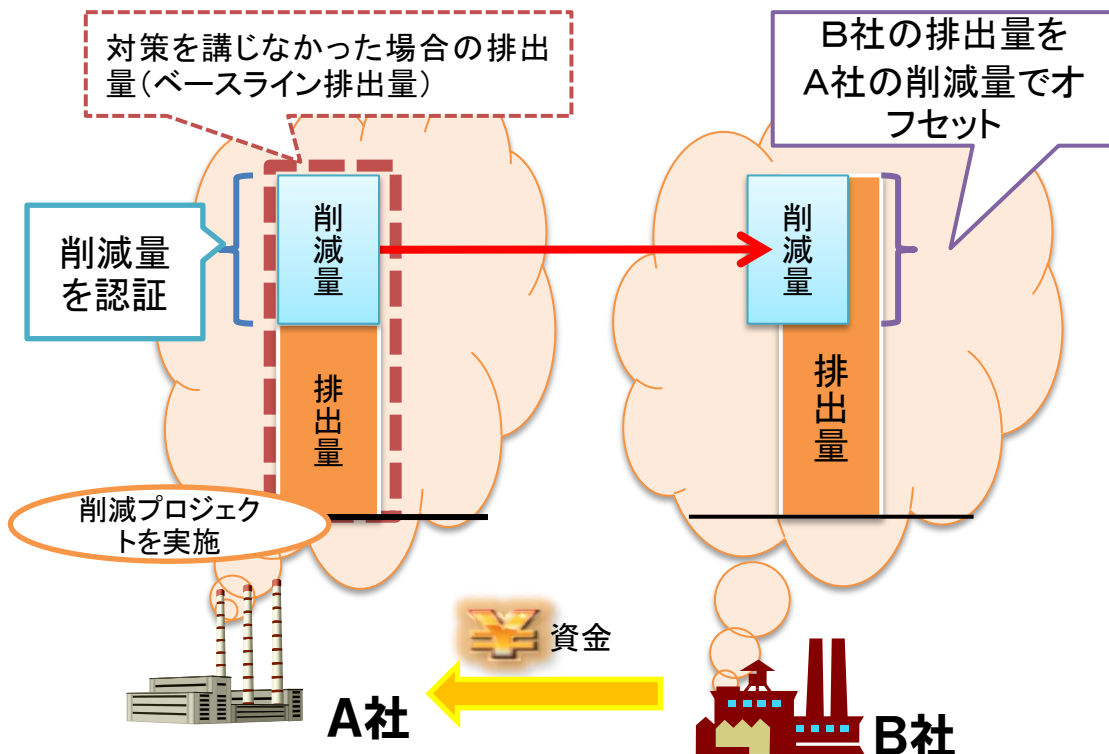
平成24年4月
環境省

オフセット・クレジット(J-VER)制度の目的及び概要について

■環境省は、カーボン・オフセット(自らの排出量を他の場所の削減量(クレジット等)で埋め合わせて相殺すること。)の仕組みを活用して、国内における排出削減・吸収を一層促進するため、**国内で実施されるプロジェクトによる削減・吸収量を、オフセット用クレジット(J-VER)として認証する制度**を2008年11月からスタート。
 (「J-VER」=「Japan-Verified emission reduction」)

■国際規格ISOに準拠した信頼性の高い認証制度として運営。

<オフセットの仕組み>



<J-VER制度の概要>

項目	内容
制度運営事務局	環境省
制度期間	平成20年11月～平成25年3月
参加主体	地方自治体、民間企業等
対象事業	温室効果ガスの排出削減事業 温室効果ガスの吸収事業
事業の申請先・申請方法	気候変動対策認証センター(委託先)に申請
クレジットの用途	①カーボン・オフセット ②温対法算定・報告・公表制度に活用

オフセット・クレジット(J-VER)制度の対象プロジェクト種類

<排出削減系>

※平成24年3月現在

E001	化石燃料から木質バイオマスへのボイラー燃料代替	E009	情報通信技術を活用した、検針等用車両による燃料消費量削減	E017	ファン、ポンプ類の換装またはインバーター制御、台数制御機器の導入	E025	石炭から未利用のバイオマスへのセメントキルン燃料代替
E002	化石燃料から木質ペレットへのボイラー燃料代替	E010	照明設備の更新	E018	廃棄物由来のバイオガスによる熱および電力供給のための化石燃料代替	E026	屋上緑化による空調の省エネルギー
E003	木質ペレットストーブの使用	E011	ボイラー装置の更新	E019	ヒートポンプの導入	E027	魚油由来バイオマスによる化石燃料代替
E004	廃食用油由来バイオディーゼル燃料の車両における利用	E012	空調設備の圧縮機の更新	E020	古紙廃プラ固形燃料(RPF)の製造・利用	E028	カーナビゲーションシステムを利用したエコドライブ支援システムによるCO2排出削減
E005	下水汚泥由来バイオマス固形燃料による化石燃料代替	E013	フリークーリング及び外気導入による空調の省エネルギー	E021	熱分解による廃棄物由来の油化燃料・ガス化燃料の利用	E029	海上コンテナ輸送に関わる国内トラック輸送効率化
E006	排熱回収・利用	E014	アイロン装置の更新	E022	廃棄物処理施設における熱回収による廃棄物のエネルギー利用	E030	下水汚泥脱水機の更新
E007	薪ストーブにおける薪の使用	E015	小水力発電による系統電力代替	E023	デジタルタコグラフの導入によるエコドライブ	E031	廃油等由来の再生燃料油の製造・利用
E008	情報通信技術を活用した、輸送の効率化による燃料消費量削減	E016	コジェネレーション設備の導入	E024	太陽光発電による系統電力の代替		

<森林吸収系>

R001	森林経営活動によるCO2吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)
R002	森林経営活動によるCO2吸収量の増大(持続可能な森林経営促進型プロジェクト)
R003	植林活動によるCO2吸収量の増大

<その他(産業系・農畜産系)>

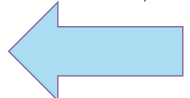
L001	低タンパク配合飼料利用による豚の糞尿処理からのN2O排出抑制
L002	家畜排せつ物の管理方法の変更
A001	消化抑制剤入り化学肥料の投入による茶園土壌からのN2O排出抑制
I001	液晶製造工程におけるSF6からCOF2への使用ガス代替
I002	温室効果ガス不使用絶縁開閉装置等の導入

オフセット・クレジット(J-VER)制度体制

運営委員会

- ・制度文書の決定及び改廃
- ・ポジティブリスト及び方法論の決定及び改廃
- ・登録簿構築、運営、管理 等
- ※H23年度は年3回開催

方法論審議
の付託



審議結果の
報告

技術小委員会

(運営委員会の下に設置)

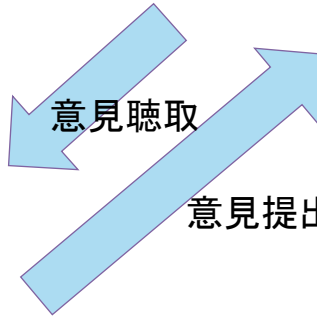
- ・新規方法論案の検討
- ・既存方法論の修正案の検討 等
- ※H23年度は年4回開催

意見提出

認証委員会

- ・プロジェクトの登録
- ・排出削減・吸収量の認証
- ・J-VER運営委員会・技術小委員会への制度
変更に関する意見提出 等
- ※H23年度は月1回開催

意見聴取



意見提出

方法論の
審議依頼



プロジェクト等の
審議依頼



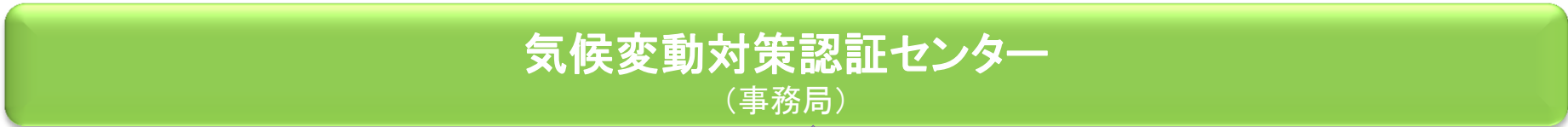
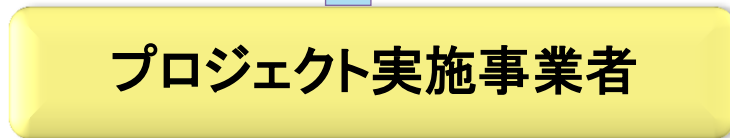
気候変動対策認証センター

(事務局)

申請等



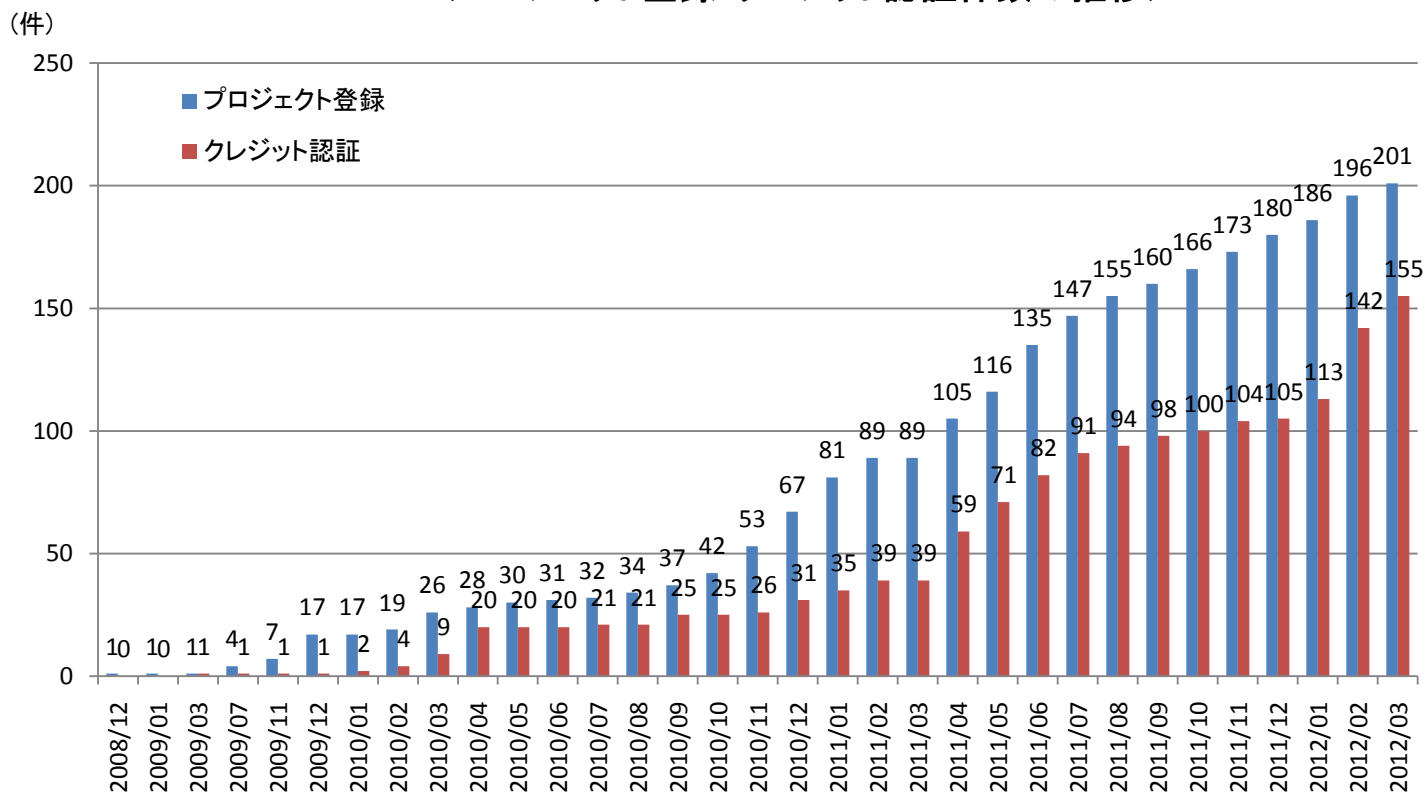
プロジェクト実施事業者



オフセット・クレジット(J-VER)制度における事業の登録・クレジットの認証等の状況について

- 2012年4月時点で、J-VER制度に登録されているプロジェクトの件数は累計201件。
- このうち155件のプロジェクトについて、オフセット・クレジット(J-VER)の認証が行われている。累計認証クレジット量は289,631t-CO₂。
- 現在までに、無効化されたJ-VERは、27,807t-CO₂。

＜プロジェクト登録・クレジット認証件数の推移＞

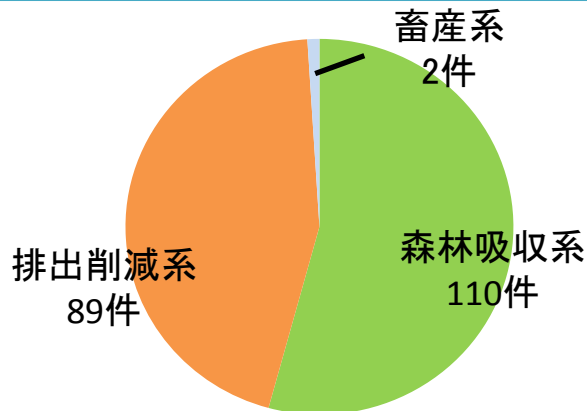


オフセット・クレジット(J-VER)制度における事業の分類について

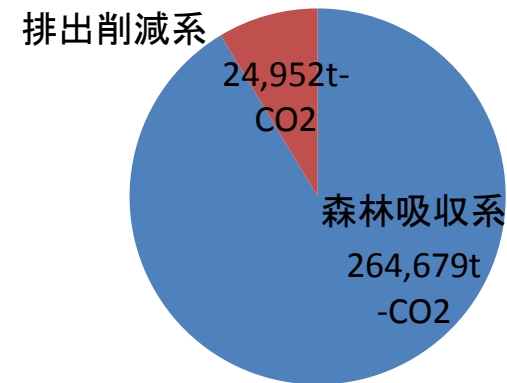
○ 2012年4月時点で、J-VER制度に登録されているプロジェクトのうち、排出削減系は89件、森林吸収系は109件、畜産系2件。

○ J-VERの認証量で見ると、排出削減系は24,952t-CO₂、森林吸収系は264,679t-CO₂。

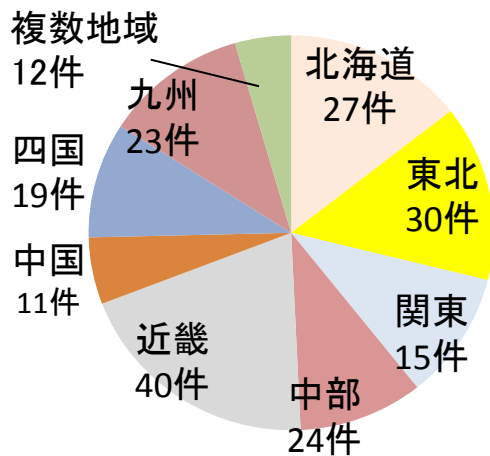
○ 地域別プロジェクト登録数、排出削減系・畜産系の方法論別プロジェクト数は以下のとおり。



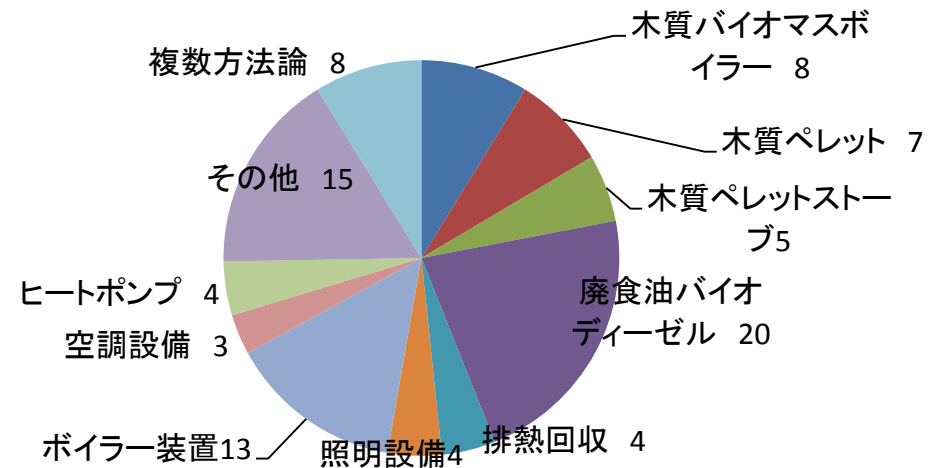
＜プロジェクト種類別登録プロジェクト数＞



＜プロジェクト種類別クレジット認証量＞



＜地域別登録プロジェクト数＞



＜排出削減系・畜産系方法論別プロジェクト数 単位:件＞

都道府県J-VERプログラム認証

- オフセット・クレジット(J-VER)制度では、温室効果ガス排出削減・吸収量をクレジットとして認証・発行する都道府県の制度について、本制度に整合していると認められるものを、J-VER認証委員会が認証し、「都道府県J-VERプログラム」としてプログラム認証リストに掲載する「都道府県J-VERプログラム認証」の仕組みを設けている。
- 都道府県J-VERプログラムより発行されるクレジット(都道府県J-VER)は、J-VERと同列にJ-VER登録簿に登録される。
- 2012年3月時点で、新潟県・高知県の2県が認証されている。

オフセット・クレジット(J-VER)制度

環境省

事務局: 気候変動対策認証センター(4CJ)

オフセット・クレジット(J-VER)登録簿

J-VER認証・発行

プロジェクト申請

プロジェクト事業者

都道府県J-VER
プログラム認証

都道府県J-VER登録

J-VERと都道府県J-VERは、
J-VER登録簿上で、同列に扱われる。

都道府県J-VERプログラム (都道府県が運営するクレジット認証制度)

都道府県

都道府県J-VER認証・発行

プロジェクト申請

プロジェクト事業者

森林吸収プロジェクトについて

(1) 森林経営プロジェクト

① 間伐促進型

2007年度以降に**間伐**を行った面積が対象

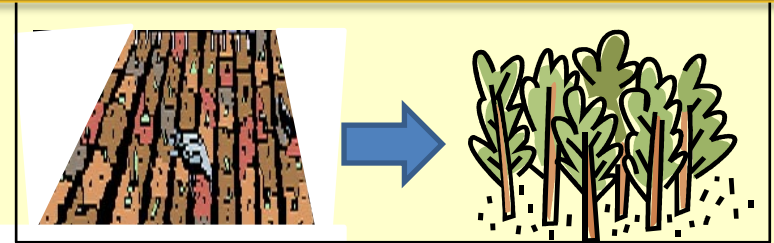
② 持続可能な森林経営促進型

1990年度以降に**間伐・主伐・植栽**を行った面積が対象



(2) 植林プロジェクト

2008年度以降に**植林**を行った面積が対象



吸収量の永続性の確保のための措置

吸収量の永続性の確保の観点から、発行されるクレジット量のうち一定量を「**バッファ管理口座**」に確保し、自然撈乱や避けがたい土地転用・伐採後の植栽放棄等により消失される吸収量に相当するクレジットを「**無効化口座**」に移転するほか、故意による吸収量の消失や永続性の確保放棄に対する所要の措置をとる。